

会議録

会議の名称	平成24年度 第5回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成25年1月28日（月曜日） 午後1時15分から
開催場所	西東京市保谷保健福祉総合センター2階 健診室2
出席者	石田会長、内田副会長、橋岡委員、新倉委員、平田委員、石井委員、小林委員、池田委員、高梨委員、高西委員、高橋委員、大堀委員
議題	(1) 第4回議事録について (2) (仮称) 第2次西東京市健康づくり推進プラン案について (3) プランの評価方法について (4) 市民周知の方法について (5) その他
会議資料の名称	(仮称) 第2次西東京市健康づくり推進プラン案 資料 プランの評価方法 第2次西東京市健康づくり推進プラン案（概要版）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会 事務局より資料、傍聴人、欠席者の確認</p> <p>2 議事 (1) 第4回議事録について ○会長： 第4回議事録について。修正、意見等の確認。（意見なしで承認された。）</p> <p>(2) (仮称) 第2次西東京市健康づくり推進プラン案について 事務局より資料説明 ○会長： 訂正、意見等があればお願いしたい。</p> <p>○委員： 概要版の「重点的取り組み」について。「学び・創造」の母子の取り組みの「家族でいっしょにできることを作ろう」がわかりにくい。</p> <p>○事務局： 公民館の活動や運動なども含め、幅広く考えられており、このような表現になっている。</p>	

○事務局：

素案 29 頁に該当しているが、「作る」を「創る」としてはどうだろうか。

○委員：

「作る」だと物を作る、作成するイメージだ。「創る」のほうがいいだろう。

○事務局：

具体的には一緒に家事をしたり遊んだりということだが、「作り上げていこう」という意味で、創造の創として「創る」がいいかもしれない。

○会長：

「できることを作る」は日本語としておかしい。「できることをしよう」ではないだろうか。

○事務局：

評価する指標として、素案 60 頁の「子供と一緒によく遊んでいる父親の割合」、「子供と一緒に楽しく食事を作ることを気を付けている親の割合」で、一緒に作ることをイメージしている。

○会長：

いろいろな意味が含まれているということだ。

○事務局：

「作る」を平仮名にしてはどうだろうか。

○委員：

概要版だけ見ると「いっしょにできることを作ろう」ではわかりにくい。「家族で一緒にできる時間や場面を作ろう」であればイメージしやすい。

○事務局：

「家族でいっしょにいる時間や場面を作ろう」とすれば、誰でもイメージはしやすいと思う。

○委員：

もしくは「できることを持とう」ではないだろうか。

○会長：

インパクトのある言葉にしたほうがいい。

○委員：

「家族でいっしょにできることをしよう」、「家族で時間や場面を作ろう」、「家族でいっしょにできることを持とう」と意見が出ているので、そのどれかでいいのではないか。

○事務局：

「家族で一緒にできる場面や時間を持とう」または「家族と一緒に時間や場面を作ろう」としてはどうだろうか。

○委員：

「作ろう」とするならば、「作」ではないほうがいい。

○事務局：

「つくろう」は平仮名にしたい。

○会長：

「つくろう」か「持とう」のどちらかがいいだろう。

○委員：

「持とう」のほうがイメージしやすい。

○事務局：

「家族でいっしょにできる場面や時間を持とう」とし、概要版、本編とも変更する。

○委員：

概要版 3 頁の「市民の健康づくりに関わる各主体に期待される役割」の図だが、地域の枠組みに西東京市は入っていないかいいのだろうか。

○事務局：

全体の取り組みを市民、地域、行政と分けた関係で、市民と周りを地域と位置づけている。それとは別に行政を位置づけて整理している。

○委員：

市より地域の方が小さいイメージ（町内会や自治会など）なので、いいのではないだろうか。

○委員：

市を地域と考えると、市は別の立場なのかと思ったが、町内会などの身近なところが地域というイメージならば、気にならない。

○事務局：

西東京市の矢印に「支援」という言葉を入れている。地域を支援することが行政の役割で、地域からはみ出ているのではなく、「地域全体を支えている行政」を図式化している。

○委員：

市全体が地域ではなく、身近で小さいところという理解であればいい。

○会長：

他に気がついた点がなければ承認とする。（委員から承認を得た。）

(3) プランの評価方法について

事務局より資料説明

○会長：

評価方法だが、数値で表せるものはできるだけ数値化して評価したい。指標の見直しについて、成果目標の 5 年後 10 年後の疾患の推移を見たいがなかなか出てこない。数値化できないものはアンケートとなるが、あやふやな評価で終わってしまうことが多い。今後は指標をできるだけはっきりしたものにしてほしい。それが出ると西東京市の健康状態、疾病にかかる人の比率の増減がわかる。最終目標は疾病を減らし、医療費を削減することだ。指標を工夫して分かり次第、次期には入れたい。

国民健康保険の医療費推移（西東京市の一人当たりや一件当たりの医療費の増減）は出るだろうか。一般市民に公表するのではなくとも、協議会に公表してほしい。いくら健康といっても、

健康に取り組む人が増えないと医療費は増加する。増減や効果がはっきりわかれば、指標のひとつに加えられるのではないか。

○委員：

指標だが、健康づくり推進プランではすべての市民が含まれており対象が広い。医療費の削減という部分では特定健診関係が一番期待されている。特定健診等実施計画を作り毎年評価することとされている。特定健診等実施計画と健康づくり推進プランの指標を一緒にするのは難しいが、評価方法に基づいて進捗状況を確認する場がこの会議ならば、会議内で特定健診の資料を出してもらえればと思う。

○会長：

同様に保健所関係の資料で西東京市に関するものを細かく出してほしい。特にがんの死亡率や各種がんの罹患率などは知りたいところだ。

○委員：

会議資料として、管内5市であれば西東京市と近隣市の比較資料を用意できる。

○事務局：

既存資料で見たいもの、知りたいものを提案いただければ提示していきたい。

(4) 市民周知の方法について

事務局より周知手段について説明：

概要版を公共施設、各医療機関待合室に設置し、市民の目に触れる場を増やす。民生員、社会福祉協議会など地域で主体的に活動しているサポーターなどに配布し、プラン推進の一役を担ってもらおう。市のホームページにカラー掲載する予定。健康づくり推進プランを健康事業ガイド（毎年4月全戸配布）や市報、健診案内などを活用し周知する。プラン進捗状況の把握、評価に関係する機関や委員会への配布を予定。市民には情報公開コーナーや図書館などで公開していく。

○会長：

プランを市民に周知できていないことが問題だ。市民の行動目標はまったく進んでいないので、周知を徹底してほしい。市民に行動目標を実践してもらえないとプランは成立しない。実践はその次としても、プランがあることをまず知ってもらいたい。各クリニックに概要版を置いてもいいのではないだろうか。公共施設において手に取ってもらえるようにしてほしい。学校などでは周知はどうだろうか。

○委員：

学校へ置くことはできるが、保護者へのPRが難しい。

○事務局：

全戸配布してもなかなか見ない。見開きで一枚ものなら家でも見るが、ページ数が増えるとある程度時間がないと見ない。医療機関の待ち時間などは一番有効な方法だと思う。

○委員：

概要版だけで周知するのは難しいだろう。概要版を待ち時間に見ても面白くない。クイズ形式などにして興味を持たせられないだろうか。例えば「禁煙区域を知っているか」、「正常な血圧を知っているか」などの問にして目標を正解にすれば、取り組みにつながっていくのではないだろうか。

○委員：

クイズ形式であれば、健康まつりなどでもクイズに答えて景品を出すなどできる。その他としては、たばこのマナーについて駅周辺でチラシなどを配っているの、そこに健康づくり推進プランに関することを含め、興味のある人が健康づくり推進プランにつながるようにしていくなど、いろいろな施策と連動できればいいと思う。学校などで周知するには、運動や食事などの部分で、保健だよりに掲載してもらおうなど可能ではないだろうか。一部署だけで広めるのは大変だと思うので、自分達の関わる場所や出来そうなところで取り組み、広がればいいと思う。

○委員：

しゃきしゃき体操は西東京で収穫した野菜を食べたときの噛んだ感覚のことだと聞いたが、由来を知っている市民は少ない。そういうことも「なぜしゃきしゃき体操というか知っていますか。」とクイズ形式にすれば、身近に感じて興味を持ちやすいと思う。文言だけでは見ない。

○会長：

自治会などの集まりで配布してはどうか。

○委員：

西東京市は自治会がない地域もある。民生児童委員などに依頼して、高齢者の自宅へ訪問で説明をすれば効果はあるのかもしれない。

○会長：

民生児童委員などを利用しないと、配布は無理だろう。

○委員：

3年に1度、75歳以上の高齢者の実態調査をしている。その際に一緒に配布は可能だ。ただし全員ではなく、年齢も75歳以上なので限られてしまう。

○委員：

全戸配布しても見てもらえないという話があったが、私は医療機関や公民館には縁がない。医療機関や公民館に行く人は目にするかもしれないが、行かない人にとっては見る機会がない。配布されて8頁くらいの概要版ならば読むと思う。

○会長：

全戸は無理だが、幅広く配布できれば、口コミで広がるかもしれない。一般市民に実践してもらうためには工夫が必要だ。

○委員：

クイズ形式にするならば、もう一種類作成するのか。

○委員：

健康づくり推進プランを知っているかが大事なので、見る機会として概要版にクイズを1枚追加などで十分ではないだろうか。

○委員：

表紙に盛り込めば目を引くだろう。

○会長：

ぱっと見てつまらないと思うと見ない。そうすると 8 頁であっても最終頁までは読まない。

○委員：

最初の頁にインパクトがあった方がいいので、重点的取り組みを 1 頁目にできないだろうか。

○委員：

例えば、ぱっと開いたときに「健康で長生きしたい人」などとあると目を引くと思う。1 枚目に理念や目的があっても見ない。インパクトがない。

○委員：

「長生きするためには」などとあると、何が書いてあるのかと気にする。

○会長：

配布に関してはあらゆる会を利用して配ることも大事だ。各会の開催時に配布できればいいだろう。

○委員：

西東京市ではホームページやツイッターなどの電子媒体発信はどのくらいあるのか。

○事務局：

ホームページが主体だ。

○会長：

電子媒体だと高齢者は見ない。（※高齢者は市報を見ることが多い。）

○委員：

概要版を見てさらに詳しく見たい人のために、ホームページのアドレスを掲載したほうがいいのではないか。

○会長：

ホームページには本編を掲載するのか。

○事務局：

本編は掲載する。

○会長：

あとは医師会、薬剤師会、歯科医師会での配布をお願いしたい。

○委員：

概要版に健康づくり推進プランに関する問い合わせ先は掲載しないのか。

○事務局：

奥付けに掲載する。

○委員：

ホームページで本編を見たいときに目的のページに辿り着ける人は少ない。市民が分かりやすい言葉で検索できて、簡単に見られる工夫をしてほしい。

○会長：

意見を参考に、配布も含め周知方法を事務局で再度検討してほしい。

(5) その他

委員より講演会の案内

(2月17日(日曜日)午後3時から市民会館にて、青木先生によるアンチエイジングの講演会を開催)

○会長：

答申案を2月1日(金曜日)1時半に田無庁舎第三市長応接室にて市長に提出する。

次回協議会日程：3月6日(水曜日) 開催予定(現プランの進捗報告)。時間、場所は後日連絡。